

# Ishikawa 石川県



## 石川県健康福祉部健康推進課

### 石川県の概要

石川県は、日本列島のほぼ中心、北陸地方の中央に位置し、北は能登半島が日本海に突出し、東西約100km、南北約200kmと、南西から北東に向かって長細く、約580kmの海岸線を有し、11市8町の計19市町から構成されています。

南は白山を水源とする手取川による肥よくな加賀平野、北は里山里海に代表される豊かな自然に恵まれた能登半島からなり、県都金沢は日本でも有数の城下町で、歴史の面影を残す一方、近代的な街づくりも進んでおり、多くの観光客が県内を訪れています。

平成29年10月現在の推計人口は約115万人で、県内には4つの二次医療圏があり、国指定の県がん診療連携拠点病院が1か所、地域がん診療連携拠点病院が4か所、県指定の地域がん診療連携協力病院が2か所、地域がん診療連携推進病院が7か所整備されています。

### 石川県のがん登録事業

石川県のがん登録事業は、1991年から県が実施主体となり、県内の医療機関や金沢市保健所の協力を得て実施しています。事業開始以来、登録室業務は県医師会へ委託し、集計・分析作業は県が実施する体制をとっています。

当初、男性8部位、女性10部位の部分登録を行っていましたが、2008年からは標準データベースシステムを導入するとともに、全部位登録に移行し、2016年からは全国がん登録都道府県データベースシステムを導入しています。

届出件数については、2010年以降、国指定の拠点病院、県指定の推進病院・協力病院からの届出が増加し、地域がん登録の届出は、年間10,000件程度で推移するようになりました。

2017年は、全国がん登録が開始されて初めての提出期限がありました。届出件数は、14,000件程度まで増加しました。地域がん登録から全国がん登録への移行がひとまず無事に行われたことに安堵しておりますが、引き続き、行政、医療機関、実務者が協力し、がん登録事業に取り組んでいきたいと考えております。



石川県がん登録室のメンバー

### 現状と課題

本県では、地域がん登録においては、遡り調査を実施していないため、DCN=DCOとなっており、登録精度は、MCIJ2013では、DCO割合8.9%、IM比2.66(MI比0.38)となっており、2013年症例より、精度基準Aを達成することができました。全国がん登録の開始に伴って、2018年は、2016年症例の遡り調査を控えておりますが、引き続き、更なる登録精度の向上に努めてまいりたいと考えております。

また、県では、全国がん登録に対する理解を深めるため、数年前から県内の医療機関を対象に、全国がん登録研修会を開催してきたところですが、2017年は提出期限直前に多くの問合せをいただく事態となりました。特に指定診療所からの問い合わせが多く、院内がん登録を実施していない施設などを中心に、全国がん登録に対する理解がまだまだ深まっていないことを実感しているところです。

### 最後に

石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会の委員の先生方のご要望でもありますが、将来的には、がん検診の精度管理へのがん登録データの活用などを検討してまいりたいと思っております。

今後も引き続き、がん登録の重要性に対する理解が深まるよう努めてまいりますので、国立がん研究センターの皆様をはじめ、全国のがん登録事業関係者の皆様には、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。